

講義科目名称： 保育実習 I A

授業コード：

英文科目名称： Nurturing Practice IA

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
徳留 由貴			
添付ファイル			

科目の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所等における子どもの生活と保育士の援助や関わりについて理解する。 ・ 子どもとの関わりを通じた観察によって、子どもの発達過程とその援助について具体的に理解する。 ・ 子どもの発達過程に応じた保育内容及び保育環境の実際について理解する。 ・ 保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。 ・ 専門職としての保育士の役割と職業倫理について具体的に理解する。
授業の内容	<p>1 保育所の役割と機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり ・ 保育所保育指針に基づく保育の展開 <p>2 子どもの理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの観察とその記録による理解 ・ 子どもの発達過程の理解 ・ 子どもへの援助や関わり <p>3 保育内容・保育環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の計画に基づく保育内容 ・ 子どもの発達過程に応じた保育内容 ・ 子どもの生活や遊びと保育環境 ・ 子どもの健康と安全 <p>4 保育の計画・観察・記録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的な計画と指導計画及び評価の理解 ・ 記録に基づく省察・自己評価 <p>5 専門職としての保育士の役割と職業倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士の業務内容 ・ 職員間の役割分担や連携・協働 ・ 保育士の役割と職業倫理
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。 ・ 観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。 ・ 既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する。 ・ 保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。 ・ 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。
授業の方法	・ 保育所における実習に10日間以上参加する。
成績評価の方法	・ 実習評価（90%）及び日誌を含む実習内容の評価（10%）
教科書・テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪青山大学 子ども教育学科 教育・保育実習ハンドブック 保育所・幼稚園・児童福祉施設実習用 ・ 大阪青山大学 子ども教育学科 保育実習ノート
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厚生労働省 2018 保育所保育指針解説 フレーベル館 ・ 内閣府 2018 文部科学省 厚生労働省 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 フレーベル館
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	・ 保育実習に参加するにあたって、子どもの発達や興味・関心などについて調べておくこと。
履修上の留意事項	・ 積極的に学ぶ姿勢をもって実習に参加すること。
オフィスアワー	・ 月～金のお昼休み
担当教員への連絡方法	y-tokudomekome※osaka-aoyama.ac.jp（※を@に変えて下さい）
その他	このシラバスは下記の文献を参考に作成した。 一般社団法人全国保育士養成協議会編集 2018 保育実習指導のミニマムスタンダードVer2 「協働」する保育士養成 中央法規